

報道発表資料

2017年2月1日

最高 32Gbps の“プロトコル・アウェア”ビット・エラー・レート・テストにより 第 4 世代規格のレシーバ・テストが容易に

新製品 BSX シリーズ BERTScope が、ディエンファシスや高速プロトコル・ハンドシェイク機能を搭載し、PCIe 4.0、USB 3.1 レシーバの検証、トラブルシュートを迅速化

テクトロニクス(所在地:東京都港区、代表取締役:木下 伸二)は、本日、業界初の 32Gbps プロトコル・アウェア・ビット・エラー・レート・テスト/解析システム BSX シリーズを発表します。テクトロニクスの新製品である BSX シリーズ BERTScope (バートスコープ)は、Gen 3、Gen 4 デバイスのレシーバ特性評価に役立つだけでなく、リンク・トレーニング、ビット・エラー・レート課題のデバッグに要する時間短縮を可能にします。

PCIe 4.0、USB 3.1、SAS4 などの第 4 世代のシリアル・プロトコルはより複雑になっています。テストするデバイスをループバック状態などの適切なステートにするためには、機器と被測定デバイス間のプロトコル・ハンドシェイクが必須になってきています。プロトコル・アウェア機能を搭載した BSX シリーズは、最高 32Gbps で動作するデバイスのハンドシェイクとリンク・トレーニング・プロセスを視覚化し、制御するために必要になるツールと柔軟性を提供します。

テクトロニクス、パフォーマンス・オシロスコープ、ジェネラル・マネージャのブライアン・ライク(Brian Reich)は、次のように述べています。「レシーバ・テストで問題が発生した場合、お客様に必要とされるのはデバイスの特性評価が行えるだけのツールではありません。問題の原因をピンポイントで特定し、複雑な計測を高信頼に変え、プロジェクトをスケジュール通りに進めることのできるツールです。レシーバ・テストでは、ビット・エラー・レートの数値を求めるだけでなく、特定のビット・エラー・レートの値が得られた理由、ハンドシェイク問題が発生した原因などを理解する必要があります。BSX シリーズは、ビット・エラーの位置とタイミングを捉えることにより、物理レイヤの障害の根本原因特定に対しての独自の解析能力を提供します」

レシーバ・テストを容易に

BSX シリーズは 12.5Gbps、24Gbps、32Gbps のデータ・レートに対応しており、Gen 4 規格で求められる数多くのテスト・ケースのコンプライアンス・テストを自動化し、正確で再現性の高い測定を可能にするツールを備えています。BSX シリーズは Tx イコライゼーション、リファレンス・クロックの逡倍、干渉生成などの機能を内蔵しているため、必要なケーブルの本数も少なくなり、従来の手法に比べてセットアップと校正が大幅に容易になります。

BSX シリーズは、ビット・エラーそれぞれの状況(タイミング、ビット位置)を連続的に保存できる唯一のレシーバ・テスト・ツールです。開発エンジニアは、BSX シリーズが提供するパターン感度、FEC(Forward Error Correction、前方誤り補正)エミュレーションなどの優れたエラー解析ツールによって、ビット・エラー原因を迅速に特定することができます。

製品価格

BSX320 型 BERTScope 32Gb/s ビット・エラー・レート・テスタ 3,780 万円(税別)

テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の問題を解決し、詳細の理解を深め、新たな発見を可能にする、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト/計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年にわたり電子計測の最前線に位置し続けています。

ウェブサイトはこちらから。 jp.tek.com

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter (@tektronix_jp)

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tek.com

報道関係者からのお問い合わせ先
テクトロニクス 広報室 瀬戸
電話:03(6714)3097 Fax:03(6714)3667
Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc.の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。